



明日の山梨を元気に!

もっともっと

SHIRAKABE

地域振興を軸に、 平成25年新年度へ向け 「富士山交通」「北富士演習場対策」 など提言



厳しかった今冬の寒波もようやく去り、富士北麓地域も陽光が輝く季節となりました。3年余前の政権交代以来、東日本大震災を経て混乱と低迷にあった国内状況も、昨年末の自民党政権の復活以後、ようやく前向きな兆しがかがれます。本県におきましても、富士の国やまなし国文祭が開幕、富士山の世界文化遺産の登録が秒読みにはいるなど、新たな希望の年となるよう願っております。

この状況の下、私は過日開催された2月定例県議会で所属する自民党・県民クラブを代表して、本会議での一般質問にたてさせていただきました。横内知事はじめ県当局に対しては「富士山新交通」の提言をはじめ、北富士演習場対策」「自殺防止

対策」「富士・東部地域の小児ハビリテーションの推進」「クニマス展示施設の設置」「若彦トンネルの湧水利用」「(郡内)地場産業センター」「U・イーターン対策」などについて議論を展開しました。いずれも富士・東部地域の地域振興策に欠かせないテーマです。本レポートでは、その詳細をお届けします。いずれも地域の皆さんのご意見を参考に私なりに論点を集約したものです。

来るべき平成25年の新年度も、県議会の場で県民の暮らしが向上するよう、横内県政をバックアップしつつ、提言を継続していきたいと決意しております。

山梨県議会議員
白壁賢一



県政の重要課題について
横内知事と対談

山梨県議会議員
白壁賢一 【しらかべ けんいち】
1969年生まれ。88年に33歳で日河口湖町議員に初当選。3期務める。2003年に富士河口湖町議員に当選し2期。この間、議長などを歴任。07年に山梨県議会議員に初当選。自民党 県民クラブに所属。

撮影：白壁賢一

お気軽にご意見を
お聞かせください。

「白壁賢一」で検索してください!

白壁賢一

検索

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁賢一 公式サイト: <http://www.shirakabekenichi.jp/>

白壁賢一 E-Mail: Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp



クニマスと人工授精で誕生した稚魚

ことを意味しており、地元でも歓迎と期待をもつて受けとめられています。クニマスが西湖で長い間生息できたのは、清らかな水に育まれた湖の環境を守り続けてきた、本日お越しの西湖地域の皆様方によるたゆまぬ努力の賜であります。

昨年の3月、県水産技術センターにおいて、クニマスの人工授精に成功し稚魚が誕生しました。以来、富士湧水の里水族館や西湖コウモリ穴などの稚魚の一般公開等を通じて、クニマスへの関心の高まりが見られるところでもあります。

こうした動きの中で、生息地である西湖周辺では、クニマスを地域資源として活用した観光や地域振興への機運が、いっそう高まっています。地元関係者からは、県内外に広くクニマスとその生息環境の保全等に関する情報を発信し、普及啓発を進めるとともに、クニマスの生態や関連する資料等がいつでも観覧できる施設

る「やまなし暮らし支援センター」を開設いたします。

センターには、本県に関する豊富な知識を有し、魅力を生かすPRできる多様な専門相談員、就職相談に精通したU・イーターン専門相談員及び県職員の合計3名を配置し、的確な情報を一元的に提供して参ります。

次に、総合相談窓口の運営についてであります。

U・イーターン就職の支援につきましては、窓口でのきめ細かな就職相談や、「人材紹介バンクやまなし」を活用した県内中小企業への就職あっせんを行うとともに、大学等へ直接出向いて就職相談会を開催するなど、幅広い支援を実施していきます。

また、移住の促進につきましては、本県での田舎暮らし実践者等によるセミナーを年間10回程度開催し、居住者の暮らし方や日常の出来事など、新鮮な情報を都市住民に向けて積極的に発信して参ります。

この整備について、大きな期待が寄せられております。幸い、昨年の2月議会における私の質問に対し、クニマスによる地域振興に取り組んでいくと答弁をいただきました。知事は、明年度、展示施設の設置に向けた調査を行うことを表明されましたが、この施設整備を含め、クニマスを活用した地域振興に、今後どのような取り組みがなされるのか、御所見をお伺いします。

白壁 来年度の予算案において、若彦トンネル湧水利用調査費が新規に計上されております。平成23年に開通した若彦トンネルでは、掘削工事大量の湧水が発生しましたが、その豊富な水は、現在、富士河口湖町大石地区の上水道等や県営局の小水力発電として利用されております。また、湧水の放流先の奥川は、ワカサギが豊富に遡上し、自然産卵していることが確認され、地元では予期せぬ副次的な効果を言っているところでもあります。

一方、近年は河口湖の水位が標準水位よりはるかに低くなる異常高水に見舞われているため、複数の地元公共の団体からは、いわゆる景観的水位の維持や、生活の糧となる水利権においても不安の声も寄せられています。県では、更なる有効利用を模索していると言っていますが、大量に持ち出されるような利用方法は、折角の湧水効果も無しとなってしまいます。そこで、湧水が移り出すことによってお考えがますますお伺いします。

また、湧水は地元の貴重な資源であります。現在の状況は、湧水が自然にたまって、地元の生活を潤している理想的な状態となっております。再活用による効用は、地元で還元されるような施策

を取るべきであります。県のお考えをお伺いします。

湧水を最大限に有効利用しようとする県の取組については、資源の高度活用という観点から、私も大いに共感し期待するところであります。若彦トンネル湧水利用の検討方針について併せて県の御所見をお伺いします。

県土整備部長 県道富士河口湖町吹線の若彦トンネルからは、一日あたり1万トン程度の豊富な湧水があり、上水道や小水力発電に利用されております。

まず、湧水が移り出すにつきましては、ミエラールウォーターなどとして利用する場合であっても、湧出量の10%程度を想定しており、河口湖の環境にはほとんど影響を与えないものと考えおります。

次に、湧水の有効利用による収益につきましては、沿線の道路の維持管理などに充当することを考えております。

また、湧水利用の検討方針につきましては、明年度、年間を通じた水量や成分分析などの調査を行い、関係機関とも協議しながら、湧水の活用策を採って参ります。

クニマス展示施設の設置について 地域振興の好材料として 早期に設置して活用を

白壁 70年ぶりに西湖で発見されたクニマスが、先般、環境省のレッドリストにおいて「絶滅」から「野生絶滅」に見直されました。これは、クニマスの生存が正式に認められた

白壁 先般、総務省が公表した平成24年の人口移動報告によると、本県は、転入者13,016人にに対し、転出者は14,264人で、転出者が転入者を1.278人上回るという結果であります。

また、前年の平成23年には、転出者の超過が1,846人にも及んでおり、このように多くの人口の流出は、極めて由々しき問題であります。県では、この事態をどのようにお考えが、ます、お伺いします。

若者をはじめ多くの人材を本県に誘導するためには、福祉や教育の充実などとともに、就労機会の拡大やU・イーターン就職の促進、

また移住等に向けた積極的な施策の展開が重要であります。

本県では、東京・日本橋の「富士の国やまなし館」に「グリーンカフェやまなし」を併設し、移住等に関する情報提供を行っています。また、物販コーナーの一角にパンフレットを置くだけで、果ては人を呼び込めるのか、かねてか懸念していたところでもあります。

県では、明年度、本県における定住人口の確保を図るため、移住及びU・イーターン就職等に関する情報をワンストップで提供する総合的な相談窓口を東京都内に新たに開設することですが、どのような体制での推進を

図っていくのかお伺いします。

また、総合相談窓口としての機能を充分发挥していくためには、豊かな自然や東京圏に隣接する地理的優位性をはじめ、本県の持つ多くの魅力を都市住民に向けて発信すること、県内中小企業の求人情報提供するなど、相談窓口には幅広い役割が求められると考えますが、今後、どのような運営を行うっていくのか御所見をお伺いします。

観光部長 ます、人口の流出についてであります。

県外への転出者が転入を上回る人口の社会減は、地域活力低下を招く大きな要因であり、これを強力抑えていくことが、県政の最重要課題の一つであると考えています。

このため、移住やU・イーターン就職等を希望する都市住民を本県へ誘導するを目的に、明年度、多くの移住希望者が訪れる東京・有楽町の「らぎさ」と暮らし情報センター」内に、生活情報と求人情報をワンストップで提供す

若彦トンネルの湧水利用について 貴重な天然資源として 高度活用の施策を示せ



本議会を傍聴に来られた200名の地元の皆様



県議会一般質問の詳細 山梨の明るい未来を願い 横内知事らと白熱の議論交換

「今朝見れば山は霞みて心さかたの天の原より春は来にけり」
季節的にも、経済的にも一陽来復の兆しが現れてきたところであります。本日は大変お忙しい中にもかかわらず、お越しいただき、誠にありがとうございます。私も今年で議員生活二十周年を迎えることができました。これほどに皆様のご支援の賜であると感じて感謝申し上げます。
今後につきましては、一基専心地元のため、そして山梨のために粉砕努力する所存でございます。今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。
そしてまた、今日は横内知事がこちらにおられます。私同様に知事にもご支援いただきますよう宜しくお願いいたします。
それでは、自民党・県民クラブの立場から質問いたします。
日経平均株価は、リーマン・ショック後の最高値を記録。為替相場に目を転ずれば、2年9カ月の円安水準であります。アベノミクスをもて、早くも市場は活気を呈しています。
しかし、好事魔多し。本県の場合、雇用者20人以下の小規模事業者は90.1%を占め、こうした事業者を中心に、3月の金融円滑化法の終了より、大きな打撃を被る恐れがあります。
国を挙げて経済再生へ邁進すべきこの時、本県の産業を育てると共に、時代に即した選択と集中により新たな成長分野へと転換を促していくべきであります。横内知事の卓越した手腕に大いに期待するものであります。
「汝の足を揺れ、そこに果あり」
「なんと山梨の明るい未来が湧きいづることを願ひ、以下質問に入ります。県は、現状の富士山新交通について、

富士山新交通について ロープウェイを整備して スバルラインを遊歩道に

自 植物生態の父、高橋昭博士は、その著書「鎮守の森」において、「日本人は太古から、壮大な自然の森、大海原や川や湖に対して深い魅力を感じる。共に、畏敬の念を持ってきた」と述べておりますが、霊峰富士と五湖の自然に囲まれた山梨の地に暮らす私にとり、その思いは同じであり、いっしょに増して、遠くから世界文化遺産の登録を得るであろう「富士山」については、信仰の対象・芸術の源泉であるその雄姿を後世に残しつつ、社会的経済基盤としてのインフラ整備を図ることが必要であります。
富士スバルライン、延長29.5km、これは富士山の急傾斜を技術的に迂回するために建設当時試みられた苦肉の策であります。二点を直線距離で結ぶことが近距離であり、合理的であることは言うまでもありません。私は、今日この瞬間の故、函館訪問、函館山ロープウェイ株式会社、索道部長さんと話す機会を得ました。
運転速度毎秒7m。乗車人員126人。最高勾配28.5度。路線傾斜勾配838.06m。間に支柱はなく、三線交差式普通索道風に強く、環境負荷が少なく、水害対策については北海道のこの施設で証明済みであります。法的問題等々々ありますが、いざれば成る、であります。
「なぜは成る、」であります。
無論、私は、開発論者ではありませんので、「富士山ロープウェイ」の導入に際し、スバルラインは原状に復し、富士山本来の植生を活かした中低木の森に遊歩道化する。この環境保全措置を併せて導入を世に問うております。
環境問題に力能業はない、とよく言われることはありますが、スバルラインをそのまま現状維持し車両による山を続けるよりも、支柱の極めて少ないロープウェイの方が、適かに環境負荷が少ないことは明白な事実であります。
また、これにより、冬季に観光客が五合目まで訪れることができる「通年型観光」を目指すべきであると考えます。
そこで、何点か伺います。県は、現状の富士山新交通について、



函館山ロープウェイ

横内知事 たた今は、御質問に先立ち、現下の経済情勢に触れながら、私の県政運営に対する期待のお言葉をいただきました。今後、山梨の明るい未来の実現に向け、全力で取り組んで参りますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。
はじめに、富士山新交通についてであります。
まず、富士スバルラインが富士山の自然環境に与える影響、環境負荷についてであります。富士山ロープウェイの導入、発想の転換、新たな視点での提案について、知事、御所見を伺います。
経済情勢に触れながら、私の県政運営に対する期待のお言葉をいただきました。今後、山梨の明るい未来の実現に向け、全力で取り組んで参りますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。
はじめに、富士山新交通についてであります。
まず、富士スバルラインが富士山の自然環境に与える影響、環境負荷についてであります。富士山ロープウェイの導入、発想の転換、新たな視点での提案について、知事、御所見を伺います。
経済情勢に触れながら、私の県政運営に対する期待のお言葉をいただきました。今後、山梨の明るい未来の実現に向け、全力で取り組んで参りますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。
はじめに、富士山新交通についてであります。
まず、富士スバルラインが富士山の自然環境に与える影響、環境負荷についてであります。富士山ロープウェイの導入、発想の転換、新たな視点での提案について、知事、御所見を伺います。

北富士演習場対策について

新「富士保全法」の要望で 地域づくりプランの推進を

自 先月、防衛省の地方協力局長から、県などに対し、この3月まで期間満了を迎える北富士演習場使用協定について、これを更新し引き続き演習場として使用したい旨の申し入れがありました。このことなどについては、知事の考えを拝聴したところですが、この申し入れ直後の記者会見で、知事は今回の更新における焦点について聞かれ、大きな問題は無い、従来例に倣うものではない、と答えられました。
演習場周辺に暮らす人々の従前からの課題について御認識がないように思える返答。たとえ感じましたが、北富士演習場問題は、今も県の重要課題であると考えております。
改めて知事の御見解を伺います。
5年前の使用協定期間満了の際に地元自治体から要望があった事業のうち、問題解決の道筋すら探ることができなかったことについて、私も富士北麓の地元選出議員4名は、県と地元と解決への方向性をお示しし、調整を致したところあります。
10年前、県下の御料地が御下賜され、恩賜林が誕生したその年、農商務省、山林局長が恩賜林を視察し「恩賜林の経営にあたっては、入会などの悲しき地元の風情を矯正していくべき」となると報告してあります。
これが恩賜林興敗一世紀の根拠にあったものだと考えることもできます。しかし、御下賜世紀目を迎え、自の地域のこととは自分で解決しようという真の自治の気風が生まれたいです。
まさに、5年前、地元自治体が県に要望事項として迫ったことの発意は、この自治の気風の萌芽からであったと思います。知事はこの定例議会、新富士保全法、制定に向けての取り組みを質疑されたのに対し、これに向け地元市町村等と歩調を合わせ対応しています。その際にも、北富士演習場問題は、県政の重要な課題であると認識している点については人後に落ちないと、知事は明確に答えています。
また、5年前、地元自治体が県に要望事項として迫ったことの発意は、この自治の気風の萌芽からであったと思います。知事はこの定例議会、新富士保全法、制定に向けての取り組みを質疑されたのに対し、これに向け地元市町村等と歩調を合わせ対応しています。その際にも、北富士演習場問題は、県政の重要な課題であると認識している点については人後に落ちないと、知事は明確に答えています。



北富士演習場

郡内地域地場産業振興センターについて 財団解散後の運営に 地元には不安の声も

自 甲府・国中地域、富士川地域及び郡内地域の箇所に設置された地場産業振興センターは、これまで、市町村や商工団体などとの連携を図る中で、魅力ある地場産品の展示、販売や、イベントの施設など、地元の人々はもちろん多くの観光客にも利用されてまいりました。しかしながら、地場産業を取り巻く環境の変化に加え、厳しい経営状況の中において、各センターでは、公益法人制度改革のため設置された経営改革検討会議での議論を踏まえ、今後のあり方が検討されてきたところであります。
そこで、まず、公益法人制度改革における移行期限を前に、甲府・国中及び富士川両センターの改革の進捗状況と今後の方向性について伺います。
次に、郡内センターについてであります。
財団が解散することになる郡内センターの施設については、昨月、月議会の私の質問に対しては、子育て支援を中心とした福祉施設として活用したい、富士吉田市の申し出に対し、無償譲渡する方向で検討しているとの答弁がありました。これまで無償譲渡について県と市で調整が図られてきたはずですが、過日、富士吉田市がこうした方針を撤回したことが、また、残された施設は4月から県が管理していくとの報道に接し、吃驚仰天したところでもあります。ここにて何故方針が変わったのか、お答えいただけますか。
また、底地は市、建物は県と、財団、という現状を踏まえて残された施設をどうするのか、地元でも不安の高まっています。そこで、財団解散後の施設をどのように活用していく方針なのか伺います。
自 県は、地場産業振興センターについてであります。初めに、甲府・国中地域地場産業振興センターについては、本年4月に一般財団法人に移行する準備が順調に進められております。



自衛隊南紀白浜三段壁「いのちの電話」看板

自殺防止対策について 自殺者の撲滅に向けて 「防止条例」制定願う

自 先月発表された警察庁の統計によると、昨年、1年間の全国の自殺者数は、15年ぶりに3万人を割り、本県で発見された自殺者数も11年ぶりに300人を下りました。しかしながら、これは全国の数値の減少に伴い、本県も減ったものであり、単純に喜ぶことはできません。
依然として、本県では人口10万人当たりの自殺者数が、6年連続で全国ワースト一位という、大変不名誉な状況が続いています。これは、知事が掲げる「喜びやすさ日本の県づくり」の根幹に関わる重要な問題であります。
県では、平成21年度から本々、原樹海対策を含め、現状、これまで行ってきた対策では、十分だと評価を得ています。私は、自殺撲滅に向けた条例を制定すべき、再三にわたり県議会において提言してきました。言うまでもなく、条例制定により、県民や市町村の自殺予防意識の醸成や、地域の主体的な取り組みの、より一層の強化につながるものがあります。
しかしながら、県において、向い実現を目指す動きが見られないことは残念でなりません。新たな一歩を踏み出すためにも、今こそ効果が見込める方策を考え例示し、本県独自の自殺防止対策を推進すべきであります。
「無責任とは良心の欠如ではなく、自らの判断を変えないことに固執することである。」トランプの哲学者、カントの言葉を噛みしめていただきます。条例制定定地定地となし考えますが、御所見を伺います。
自 県は、自殺防止対策に取り組むため、昨年9月知事をトップとする自殺防止対策推進本部を立ち上げ、県民運動として自殺防止対策を展開するためのガイドラインなる行動指針を策定することになりました。県は、自殺防止対策に取り組むため、昨年9月知事をトップとする自殺防止対策推進本部を立ち上げ、県民運動として自殺防止対策を展開するためのガイドラインなる行動指針を策定することになりました。



山梨県立富士ふれあいセンター

富士東部地域の小児ハビリテーションの推進について より質の高い施設目指し 人材確保と効果的運営を

自 知事は、議会の開会にあたり、富士河口湖町船津にある富士ふれあいの村に、あけぼの医療福祉センターの支所として、診療所を平成27年度に開設する旨を表明されました。
この診療所は、富士・東部地域の小児ハビリテーションを推進するものとして、地域の子育てや療育施設を多く受け入れる私的施設では、不安が完全に払拭されない状況があります。
今開設する診療所が、「仏作て魂入れず」といったことにならないよう、施設の運営面からも、医師等の人員を適正に配置するなど診療所の機能が十分に発揮できる体制を整備することが大切であります。そこで、まず、医療従事者の人材不足とされている中で、どのように人材を確保し、運営をされるお考えか、伺います。
また、この診療所では、機能の小児ハビリテーションは、機能の回復だけでなく、新たな獲得をも目的とするため、実施に際しては、特殊技能や知識を必要とします。そこで、質の高い小児ハビリテーションを実施するため、診療所の専門性や技術力を高める機能強化をどのように図っていくお考えか、伺います。
自 知事は、議会の開会にあたり、富士河口湖町船津にある富士ふれあいの村に、あけぼの医療福祉センターの支所として、診療所を平成27年度に開設する旨を表明されました。
この診療所は、富士・東部地域の小児ハビリテーションを推進するものとして、地域の子育てや療育施設を多く受け入れる私的施設では、不安が完全に払拭されない状況があります。
今開設する診療所が、「仏作て魂入れず」といったことにならないよう、施設の運営面からも、医師等の人員を適正に配置するなど診療所の機能が十分に発揮できる体制を整備することが大切であります。そこで、まず、医療従事者の人材不足とされている中で、どのように人材を確保し、運営をされるお考えか、伺います。
また、この診療所では、機能の小児ハビリテーションは、機能の回復だけでなく、新たな獲得をも目的とするため、実施に際しては、特殊技能や知識を必要とします。そこで、質の高い小児ハビリテーションを実施するため、診療所の専門性や技術力を高める機能強化をどのように図っていくお考えか、伺います。



郡内地場産業振興センター